

まちづくり

行田市の検証を質す石畳風道路と水城公園・旧忍町信用組合

高橋 弘行  
(改革・創生の会)

●石畳風道路改良事業等の社会資本整備事業の検証

問 5年事業の4年が経過したが年ごとの検証は。

答 事業完成後の令和2年度に事業評価委員会を設置し、目標達成状況を評価、検証する。結果は市ホームページ等で公表を予定している。

問 年ごとに検証しないということは、途中改善はないということか。

答 5年間で実施した結果の検証が、本来の意味があるものと考えている。

問 八幡町の方より反対の声が寄せられている。反対でも工事を行うのか。

答 観光ネットワークの形成、行田の未来に向けて基盤づくりを行うものであり、本年は最終年度である。

●旧忍町信用組合店舗、水城公園移築事業の検証  
問 この事業が決定する

までに、市民の意見、市民の声は聞いたのか。

問 市民の声を聞いた経緯は把握していない。

答 カフェの家賃を無料にしたが、受益者負担ということで、コミュニティセンター、公民館等、今まで無料だった施設から使用料を徴収している。税金を1億4千万円近く使い、電気代、水道代、電話代は3年間無料である。なぜ、この建物はタダなのか。

問 市民や観光客の交流拠点として文化財を活用し、まちのにぎわいを創出することを目的としているためである。

問 なぜ、なかったエシペーターを設置したのか。営利団体に無料で貸すことに、市民から苦情が出ている。

答 文化財を保存から活用へ転換する先進事例として考えたものである。

●災害に強いまちづくり

教育環境整備

学校給食の無償化について

加藤 誠一  
(黎明21)

問 本市の給食費(月額小学校4100円、中学校4850円)の水準は。

答 県、全国平均とほぼ同水準である。

問 本市では就学支援対象者や第3子以降の無償化等、一部無償化を実施しているが、完全無償化の自治体の状況はどうか。

答 完全無償化の自治体は、関東では数市、ほとんどが町村であり、本県では滑川町、小鹿野町、神川町の3町のみである。

問 完全無償化のメリットと課題は。

答 子育て世帯の負担軽減による定住人口の確保が期待できるが、継続的な予算確保が課題である。

問 完全無償化へのアプローチとして、小学校のみ等の限定実施の考えはあるか。

答 財源の確保とともに完全無償化の方法についても総合的に検討したい。

市民生活

動物愛護と食品ロス削減について

木村 博  
(公明党)

●動物愛護に関わる行田市の取り組みについて

問 県の「地域猫活動推進事業」については、調査研究すると、これまでの議会などで答弁していたが、その結果は怎么样了か。

答 既に補助制度を活用した自治体や、現在、補助制度を活用している自治体からの意見を鑑みて、市としては慎重に検討している。

問 動物愛護殺処分ゼロに向けた民間基金等の活用について、先進自治体の事例等を調査研究していくとの答弁であったが、その結果については。

答 現在、民間基金等を活用し、殺処分ゼロに向けた取り組みの実施に向けて検討している。

問 飼い主のマナーアップにつながる「イエローチョーク作戦」を提案するが、市の考え方は。

答 既に実施している他の市の状況を参考に効果等を検証するとともに、関係機関と連携し、実施に向けて検討していく。

●食品ロス削減に向けた行田市の取り組みについて

問 社会福祉協議会が実施しているフードドライブ事業は、どのような内容なのか。

答 一般家庭で余っている食品を寄贈してもらい、必要としている施設や、生活困窮世帯、フードバンクなどに、無償で提供する活動で、年3回実施している。

問 食品事業者の廃棄抑制や消費者である市民への食品ロス削減に向けて、市では普及・啓発をどのように行っていくのか。

答 様々な機会を捉え、市民や事業者に対し、食品ロスに関する普及・啓発に取り組んでいく。